

(様式2)

令和3年 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591600166		
法人名	社会福祉法人上越あご福祉会		
事業所名	グループホーム妙高愛宕の園(2ユニット共通)		
所在地	新潟県妙高市小出雲3丁目12-18		
自己評価作成日	令和3年9月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県社会福祉士会		
所在地	新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階		
訪問調査日	令和3年10月25日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業譲渡により母体企業が2回変わっていますが、そのたび「利用者様とご家族様に迷惑かけないように」と職員一丸となり乗り越えて来たことが自信となり、更なる利用者様へのケアに繋がりご家族様との信頼関係もより良い方向になっております。コロナ禍で大きな行事やドライブは中々行えない状況ですが、利用者様が何かしら楽しんで頂けるように職員一同取り組んでおります。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は市街の住宅地に所在しているが、周囲は自然に囲まれており、利用者は四季を感じながら過ごすことが出来ている。建物は白木を多く使用した温かさの感じられる雰囲気づくりの中にも、収納棚を機能的に設置する等、利用者が自由に安全に往来したり、体操やレクリエーションに取り組めるよう、広さも確保できるような工夫が行われている。今回の訪問調査時にも体操を楽しんでいる様子がうかがえた。

管理者・職員は、事業譲渡により運営法人が変わった際にも、自らが目指す事業所のあり方について、理念を見直しながらも、設立当時の地域密着型サービスとしての目指す方向性や思いは同じであるとの意識でこれまで実践に取り組んできている。

事業所内では、利用者の本人らしい暮らしを支える為に、職員間で意見やアイデアを出しやすい、積極的に関わる体制づくりに取り組んできている。この事は今回の訪問調査での職員からの聞き取りでも確認できており、風通しの良い職場作りが実践されていることがうかがえた。

協力医との連携や看護師の配置もあり、利用者の医療面、健康管理にも支援がおこなわれており、終末期の過ごし方についても協力して支援が行える体制づくりに努めている。

現在は、コロナ禍にあり、地域との交流が中断しているが、今後は予定していた行事や防災訓練への参加を通じて、さらに地域の中での事業所としての役割を担いながら関係性を構築し、利用者が地域の中で暮らして行く事への実践に期待できる事業所である。

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は日々の職員申し送り時に唱和しており、各ユニットと廊下に事業所理念・基本理念掲示しています。	理念は開設時に当時の立ち上げスタッフによって、法人理念を下に策定されている。事業譲渡により運営法人が変わった際には見直しを行っているが、地域密着サービスとして目指す方向は同じである事を確認し、継続して掲げている。掲示や毎朝のミーティングで唱和を行い共有しており、家族には「通信」に記載する等の工夫をもって公表している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に町内会長・民生委員の出席を頂き町内の行事等情報共有を行い、ボランティアで町内の方からホームの草刈りを定期的にお願ひしています。	現在はコロナ禍にあり、地域行事が中止になる等交流の機会はなくなっているが、以前は納涼会に地域の方をお誘いしたり、お祭りに子ども神輿の来訪を受ける等の交流や、また、オカリナ演奏などのボランティアの受け入れも出来ていた。外出の自粛下においても、天気の良い日は駐車場に出て、地域の方と挨拶を交わすようにしている。地域からの依頼で「子ども100当番」の役割も担っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今のご時世、外出する事が中々出来ない状況ではあるがホーム駐車場を外気浴しつつ町内の方に挨拶をさせて頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、ご家族様代表・町内会長・民生委員・市役所の方に参加頂き利用者様の状況やホームの様子をお伝えし情報交換を行い、ご意見を頂いた事に対してはサービス向上に繋げています。	コロナ禍により現在は書面会議に留まっているが、通常は利用者も参加して開催していた。主には事業所の運営・利用者の状況、行事等の報告であるが、防災に関する地域の取り組みや事業所が担える役割などについて協議を重ねている。メンバーに町内会長や民生委員が参加していることから、町内の草取り作業の後には、事業所の外回りの草刈りも担って頂き、現在は作業日に関わらず整備に来てもらえるなどの関係に広がっている。また、会議の議事録は、参加されない家族にも今後は送付する予定である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話やメール等で福祉介護課の担当の方に相談し助言を頂いています。	市担当者が運営推進会議のメンバーであることから、日頃から相談しやすい関係性が確立している。県からの通知や研修案内も届いている。また、「妙高市介護ネットワーク総会」や「妙高ケアフォーラム」の開催時に医療・介護・福祉職が集まり、現状報告や課題等への意見交換が行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に1回開催し議事録作成し職員に周知しています。	3ヶ月に1回「身体拘束防止委員会」において身体拘束に関する研修を実施したり利用者の状況を確認しながら、身体拘束のないケアを実践している。また、利用者個々の状況において、安全性を優先しセンサーマットの使用や窓にストッパーを掛けるなどの対応を行うことはあるが、必ず改善計画を立て評価を行いながら、解除に向けて取り組んでいる。	
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ユニット会議等で、虐待防止について話し合いを行い、職員の虐待に対する認識確認を行っています。	虐待の防止に向けて、何でも話せる風通しの良い職場づくりと法人によるストレスチェックを実施し、職員がストレスを抱え込まないように対策を講じている。また、身体拘束と合わせて、職員間で虐待に関して認識を深める取り組みを行っているが、関連法を学ぶ機会はこれからである。	虐待防止については職員間での認識はあるが、今後はより「虐待防止関連法」について学ぶ機会の設定や、現在検討中の法人内グループホームの合同研修を実施して、虐待や不適切ケアの防止の徹底に向けた取り組みを期待したい。
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の対象になる方がいない為、学ぶ機会がありませんでした。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時ご家族様に契約書・重要事項説明書を中心に丁寧な説明を心がけています。また、質問には納得のいくまで説明させて頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍で面会が行えない為、ご家族様からの意見を頂く事が中々出来ない状況ではあります。	利用者には日常の生活場面の中で直接意見を聴いたり、利用者の表情・つぶやき等から要望等を把握している。家族については、面会の自粛もあり、コロナ禍以前に比較して聴取できる機会がなく、電話等で確認するに留まっている。	面会の自粛に伴い、家族と直接話す機会は少なくなっているが、利用者の生活を支える為には家族との協働が必要である。利用者の暮らしを伝える事と同様にコロナ禍においても家族からの意見を引き出す工夫により一層取り組んでいくことを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月各ユニット会議を行い意見・提案を聞く機会を設け、直ぐに対応出来るように努めている。	日頃から職員が意見を申し出やすい環境づくりに努めている。また、ユニット会議においても、利用者のケース検討の他に各委員会からの意見や提案等に対し積極的に意見交換が実施できている。ユニット会議で上申する内容は法人の管理者会議にて申し出、検討を図る仕組みが作られている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	事業譲渡が1年の間に2回行われた為、現段階では行う事が出来ていない。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の参加は出来ていないが、内部研修を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍の為、参加出来ていません。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人・ご家族様の要望をお聞きし安心して生活が継続出来るように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前面談で、ご本人・ご家族とお話する中で要望などお聞きし対応出来るように職員と検討ししんらい関係を築けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の情報を把握・理解したうえで支援が出来るように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意思を確認しながら、役割を持って頂き洗濯干し・洗濯たみ・テーブル拭き等をいっしょに行っています。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月近況報告と通信を送らせて頂き、ホームでの生活状況や行事の状況等をお知らせしてしています。現状では窓越しにて面会とさせて頂いております。	通信は「あかくら館」「つばめ館」それぞれのユニットから発信されている。写真が多く利用者の笑顔が伝わる工夫が行われている。家族には入居時の居室づくりや季節の衣替え等の役割を担ってもらっている他、通院付き添いや利用者の希望時には電話で話すなどの支援を継続して行っている。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会が出来ない事で手紙が届いたりしています。馴染み美容室には空いてる時間など配慮して頂き通っています。	入居時に馴染みの場所や親しんできた趣味等の把握を行っている。これまでも馴染みの美容室の利用や本屋へ通うなどの支援が実践できている。また、習字やお茶・花などの楽しみごと入居後も継続して取り組めるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いのユニットを行き来して、日々交流しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設入所後も面会に伺っていましたが、現在はコロナ禍で伺っていません。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや暮らしの希望、意向の把握とコミュニケーションをとりながらケアに努めている。本人の視点にたって検討している。	入居時の事前面談において、入居後の暮らしについて希望を聴取している。できる限り、利用者の生活習慣に合わせた暮らしが継続できるように取り組んでいる。思いの表出が難しい利用者には、入居後の暮らしの中で、行動や言葉の意味を捉えて把握している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	自分らしく暮らしていく事を支援する為、一人一人の生活歴や馴染みの関係を築きながら、これまでの生活環境の把握に努めている。	事前面接は出来るだけ自宅において実施し、これまでの生活状況や暮らし方、入居に至るまでのサービス利用等の把握に努めている。しかし、アセスメント記録様式の内容は主に身体機能や栄養に関する事項が主になっている。	入居後も事業所内にとどまらず、地域の中での本人主体の暮らしを支えるためには、利用者一人ひとりの生活環境や地域の中での関係性の把握を深めることと、入居後の情報の積み重ねと共有方法の工夫に、より一層の取り組みを期待したい。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の1日の暮らしのリズム、過ごし方、出来る事を見極め把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らす為のケアや課題の在り方について本人・家族・必要な関係者の気づきやアイデアをたてあい、介護計画に反映している。	計画作成者が事前面談の内容を基に暫定プランを作成し、入居後1か月以内に見直しを行い本プランの作成を行っている。本人・家族の暮らし方に対する思いを目標に反映したプランとなっている。モニタリングは毎月、見直しは6ヶ月に1回実施し、ユニット会議の中で意見を出し合いながら計画作成者が作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの気づきを具体的に記入しより良いケアに向けて、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況や要望に向き合い、その時々に必要な支援を事業所の多機能化を活かして柔軟に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には声をかけて頂き、町内のお祭りの時は神輿がホームに来て下さいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時、家族の希望をお聞きしかかりつけ医の変更・継続が出来るように対応しています。又、医師とはメール・FAX・TEL等で重症化を防ぐ一早期対応をしている。	かかりつけ医については、入居時に利用者・家族に説明を行い、希望に添うように決定している。協力医とは24時間連絡が可能な体制があり、定期訪問診療の他にも状況に応じて対応可能となっている。専門科の受診については、家族対応となっているが、その都度事業所から文書で状況を説明して、適切な治療が行えるように支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は週3日の対応と緊急時の対応も可能な為、その都度状態報告や相談を行い情報共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は容体をお聞きする為、現在は電話にて情報交換をさせて頂き、退院前のカンファレンスも確認し状況に応じて電話で対応となってはいますが、スムーズな退院支援が出来るように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期の在り方について、出来るだけ早い段階から本人や家族、かかりつけ医と繰り返し話し合いチームで方針を共有し支援に取り組んでいる。	利用者の状態変化に応じて、早い段階に看護師、かかりつけ医、家族と本人の意向も含めて終末期の過ごし方を話し合っている。事業所は本人・家族の意向を踏まえ、終末期を事業所で過ごせるように体制を整えている。	運営法人が変わったことにより「重度化に関する指針」も変わっているが、契約時等に説明が行われていないので、早期に取り組むことが望まれる。また、看取りに関する思いは職員間で意識統一が図られているが、今後はさらに研修等に参加し、力をつけていくことを期待したい。
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師から定期的に感染症の対応・薬の服薬管理等について内部研修を行っている。夜間帯等の急変時は管理者、看護師に連絡を入れ応援に来てもらう体制で周知している。今後、コロナの状況をみて救命救急講習を行う予定です。	事業所内看護師による感染症に関する研修をはじめ、初期対応についての実践的な研修を定期的実施している。さらに「ナース便り」を発行して、病気や薬剤に対する情報提供を行い、職員の知識を高めている。コロナ禍収束後には、消防署による心肺蘇生等の研修も予定している。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	各災害マニュアルを作成し、消防署立ち合いのもと総合訓練を行っています。災害備品・備蓄も準備されています。	災害別にマニュアルの作成を行い、避難経路や避難場所の確認を行っている。事業所が所在する周辺は水害が発生しやすい場所である事を踏まえて、有事の際には早めの避難を心掛けている。通報訓練も定期的実施している。	事業所周辺は空き家が多く、住民構成も高齢者が多い事もあり、近隣住民の協力体制が得られない状況にある。今後はこの状況を踏まえながら、予定している地域の自主防災訓練への参加を通じて、地域資源を活用していく取り組みに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人の人格を尊重し自尊心を傷つけないように対応しています。写真の掲載なども入居時に確認しています。	一人ひとりの利用者の思いやこれまでの暮らし方などから、言葉掛けやケアのあり方について職員間で話し合い、寄り添いながら本人本位の暮らしを支援できるように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の想いや希望を聞かせて頂けるように心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々の様子を把握しながらご希望に添えられるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人にその日に着る服を選んで頂いています。朝の爪切り、入浴後の爪切りの支援をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳やお盆拭き等出来る事を入居者様にお願いしています。禁食者には代替品を提供しています。現在は外食等が出来ていない為検討中です。	運営法人の方針から、現在は湯煎食を提供して、職員がより利用者に関わる時間が確保できるようにしている。食事の配膳や下膳、片付けには利用者が参加して行われている。また、誕生会には特別メニューで提供する事や郷土食の「笹すし」、おやつづくりは職員・利用者が一緒に楽しみながら作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様んじょ嚥下状態に合わせて食事形態を提供し、夜間の水分補給も通年行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声かけと、必要時には介助し夜間は義歯洗浄を行っています。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用しながら、一人一人の排泄リズムを把握したうえで表情や行動をみながらトイレ誘導を行っています。	ケース記録に排泄状況を記入して、一人ひとりの排泄パターンを把握している。夜間帯も通して時間誘導や、表情・行動などを読み取りながらトイレで排泄することを支援している。入居後にリハビリパンツから布パンツに改善できた利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を使用し排便パターンを把握しトイレ誘導を行っています。歩行運動・軽体操を毎日行い便秘予防に努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日は決めています、その日の体調や気分に合わせて時間や日にちを変更し、ご本人の希望に合った支援をしています。	入浴は予定を組みながら実施しているが、利用者の状態や気分に合わせて曜日や時間の変更を行い、気分良く入浴できるように支援している。家族からもらったゆずを使用したり、常には入浴剤を使用する等、入浴が楽しめるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室内の室温や寝具の調整等環境を整えています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬チェック表を確認しながらWチェックにて服用して頂いています。薬については薬剤師や主治医に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	裁縫の得意な方に、袋や雑巾等を作って頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で中々外出が出来ないですが、天気をみて紫陽花見学に出かけたり、受診も主治医と相談しながら家族様対応で行っています。	コロナ禍で外出の自粛は行っているが、天気の良い時には事業所周辺に出て日光浴を楽しんだり、近くの神社や花見に出掛けている。コロナ禍以前は隣の上越市まで桜の花見やドライブに出掛ける機会があった。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金をお持ちの方は金庫でお預かりしたり、契約時に家族様の同意を頂いたうえで自己管理の支援を行い担当職員は時々金額の確認を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があれば電話を掛けたり、取り次いでいます。手紙・郵便物はご本人にお渡ししています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは利用者間の関係性に配慮し食事席を決めている。季節により掲示物を利用者の方と作成し飾っています。	事業所の造りは白木を使った温かい雰囲気である。共有スペースは広く、窓も大きく、利用者は日々四季を感じながら過ごすことが出来ている。コルクボードには利用者と職員が共同で作成した貼り絵やちぎり絵が飾られており、季節を感じられる工夫も行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ユニットの行き来ができるので、自由に過ごして頂いています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた寝具や家具を持参して頂いています。	居室は、入居時に利用者と家族と一緒に家具の配置や思い出の品・写真を飾って、自宅での生活と変わりなく過ごせるようにしている。自宅で使用していた家具も自由に持ち込まれており、居室で本を読んだり、テレビを見たり、ミシン掛けを行ったりと居心地よく過ごせる居室作りが行われている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館バリアフリーになっています。ネームプレートでトイレなどの表示を行っています。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				